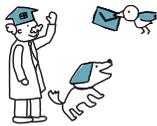


別冊

wonderful!!



家づくり ワンダフル!



Let's take a break!!



The sun is shiny!!



wonderful

こんにちは。



I got a letter!!

エルハウスの完全予約制見学会へおこしいただき、ありがとうございます。
この冊子は、家づくりをお考えのお客様にお届けするニュースレターの中の
「お客様のお宅訪問」というコーナーを1冊に集めた「別冊家づくりワンダ
フル」です。

- 家を建てたきっかけ
 - エルハウスに決めた訳
 - 建てたお家のこだわり
 - お住まいになってみた感想
- などをお聞きして、1ページにまとめました。

見学会においでいただいた皆さまの、家づくりのご参考になれば幸いです。

Enjoy crafting



Enjoy flower arrangement





お客様のお宅訪問
新築 おうち自慢!



『 T様のお宅にうかがいました 』

新しい家で暮らし始めたら、家族がたくましく変身しました。



▲先輩社員の土橋と記念撮影。「家づくりは日々進化していくので、覚えることがたくさんあります。でも、それが楽しいですね」とご主人。

あえて街中から少し離れた場所に家を建てたというT様ご夫婦。お2人の一番の願いは、お子様たちがたくましく育つこと。「小学校まで少し距離があるのも、足腰が鍛えられていいなと思ったくらいです」とご主人。ご夫婦の望みは間取りにも反映されています。「家の中で思っきり走ってほしいから、1階に回遊式の動線を取り入れました。一つはキッチンをぐるりと囲む動線。それから、脱衣場の二つの扉を開け放すと玄関・水回り・LDKを結ぶ大きな動線ができます。さらに和室の扉を開ければLDKとつながる小さな動線もできますよ。2人とも、この家にきてから“やんちゃ”になりましたね」



▲外構は奥様がDIY。敷石で絵を描いたり、遊び心が反映されています。

内装は白をベースにシンプルな色使いで統一。程よく余白をつかったことで、奥様はDIY好きに火がついたそうです。「子どもを楽しませるために、いろいろ作るうちに面白くなってしまって。壁にステッカーを貼ったり、洗面台をカラフルなタイルで装飾したり。最近は生活雑貨を自作して、置くための棚を季節に合わせて作り変えたりもしています」お休みの日は、20畳のLDKが作業場に。「大工道具の使い方を覚えてほしいので、子どもたちも一緒に取り組んでいます。最近は私にダメ出しするんですよ(笑)」



▲リビングと同じく、レンガ模様のウォールシールでアレンジしたキッチン。「自分好みのキッチンができたので、毎日ここで料理するのが楽しくて仕方ないです」と奥様。



◀オフホワイトの壁でシンプルにまとめたリビングは、アレンジがやすく、奥様にとって理想の空間。壁の飾りは季節に合わせて付け替えているそうです。

▶お子様たちが走り回れるよう、回遊式の動線を取り入れたLDK。「おもちゃの車を乗り回すこともあって、すごいですよ」とご主人。





お客様のお宅訪問
新築 おうち自慢!



『T様のお宅にうかがいました』

片付け・掃除が好きになる、バツグンに収納力の高い家。



▲2歳のお嬢さんがいるT様ご一家。
「一軒家は子どもが部屋の中で思いっきり遊べるし、周りに気を遣わずに過ごせるので毎日快適です」とご主人。

結婚して1年後に、家づくりを考え始めたT様。「ある日、妻の両親が『近くでこんな勉強会があるみたいだよ』とチラシをくれました。資金セミナーのお知らせで、講師が土橋さんでした。参加者一人一人に親身な受け答えをされていて、もっと話をしたいなと思ったので、後日事務所にお伺いしました。エルハウスさんとの打ち合わせは、とにかく丁寧。ローンの話では収入と支出の額を伝えるだけでなく、今の生活費の見直しまでサポートしていただきました。他社でも相談したことがあるのですが、何十年も先のことを考えた返済プランをもらったのは初めてです。お金の見通しが立ったことで、家を建てる覚悟も固まりました」

「実家暮らしの時から片付けが苦手で、収納は多くしたいと思っていました」と奥様。「一番気に入っているのは玄関収納です。子どもが生まれて実感したのですが、靴ってどんどん増えていくんですね。娘の靴は、毎年サイズも大きくなるからスペースも必要になります。でも少し大きめに設計してあるのと、中の棚を可動式にいただいたおかげでとても使い勝手が良いです。スペースも全然余裕がありますね。それと、あえて2階の子ども部屋には仕切りを作らなかったのも良かったです。今は子どもが1人なので、のびのび遊んでもらえるし、壁による行き止まりがないから掃除機がけもラクにできます。2人目ができたらその時考えたらいいかなと」



▲細長い土地のため、日当たりが心配だったというT様。1階の東・南に大きな窓を設置して日当たりを確保しました。

「完成した家を見た時は、どこもぴかぴかで、すごくテンションが上がりました。住んでからは、ずっとこの状態が続くように片付けや掃除の方法を見直すようになりましたね。最近はInstagramでいろんな人の収納テクニックを見て勉強するのが趣味になりました。片付けも掃除も、おっくうなものと思っていたのに、家が変わると生活の意識まで変わるんだ! と自分でも驚いています。今の目標は、何年経ってもキレイな家をキープすること。毎日意識しながら過ごそうと思います」



▲アパートと比べて、ぐんと広がったキッチン。大人2人が並んでも、ゆったりと作業できます。



▲シューズクロークに土間収納を設置した玄関は、物が溢れずスッキリ。扉は一部、鏡に変更。お出掛け前に身だしなみの確認ができます。



▲2階につくられた大きな子ども部屋。「将来、子どもが2人になったら2部屋にもできます」と奥様。



お客様のお宅訪問
新築 おうち自慢!



『N様のお宅に うかがいました』



▲弊社の住宅コンサルタントでインテリアコーディネーターの土橋と記念撮影。「土橋さんには特に色選びのことでもたくさん相談に乗っていただきました」と奥様。

家もライフプランもゆとりが大切。 子育てに専念できる生活が送れています。

土地の購入でお世話になった不動産会社さんから、エルハウスを紹介していただいたというN様。「電話でお話をした時の印象が良くて、実際にお会いしてみたくまりました」と奥様はおっしゃいます。「最初の話はライフプランを立てることでした。家を建てるとなると一番不安になるのはお金のこと。先の見通しが立って、自分たちの悩みが消えていくのが分かりました。予算を伝えても『建てられますよ』とハッキリ答えてくださったので、安心してお願いすることを決めました」

「エルハウスさんのおかげで、低予算ながらも、性能の高い家ことができました。私はエアコンの風があまり好きではないので、冬はFF式ファンヒーターを使っているのですが、1台で十分暖かいです。高气密・高断熱なので温めた空気が長持ちするのか、外から帰ってきた時も家の中が冷え切っている感じがしません。光熱費もアパートの頃は1万5000円くらいでしたが、今は冬の一番寒い時期でも7000円で収まります。初めて迎えた冬は、こんなに安く済むの!?! と驚きました(笑)」



▲土橋からの提案で、外観はホワイトとグレーの2トーンに。淡い色合いが好きな奥様も大満足の仕上がりとりました。

「引っ越してからは、子どもたちが積極的にお手伝いしてくれるようになりました。食事が終わったら2人でお片付けをしてくれます。収納も増えたので楽しいみたいです。テーブルに出ている物をしまってくれたり、コロコロでお掃除もしてくれるようになりました。キッチンがIHになったので、上の子とは一緒に料理もできます。この間は1人で卵焼きにチャレンジしていました。少しずつできることが増えているようで、毎日成長を感じます」

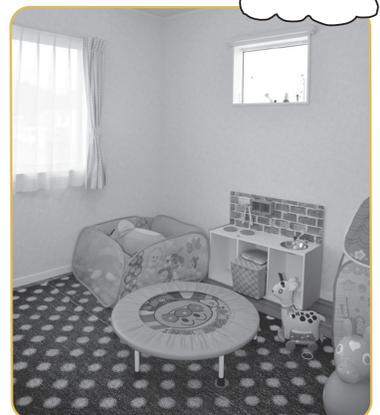
「住み心地は最高です。子どもたちも引っ越した日からはしゃぎまわっていました。お出掛けしても『早くおうちに帰ろうよ〜』とせがまれるくらい。一戸建ては手が届かないものと思っていましたが、エルハウスさんがそのイメージを変えてくださいました。お金で無理しないことを守れたので、ライフプラン通りに、下の子が3歳になるまでは専業主婦でいることができます。これからは自分たちの家で、子どもの成長を見守れるのがうれしいですね」



▲キッチンのすぐ横には、みんなでごはんを食べるダイニングテーブルを設置。お子様たちが食事に集中できるよう、テレビが見えない位置に置かれていました。



▲IHを取り入れたキッチン。作業スペースが広くなり、料理がしやすくなったそうです。「食卓に並ぶ品数が増えて、家族でごはんを食べる時間がさらに好きになりました」とご主人。



▲2階の子ども部屋。小学校に上がるまでは遊び場として使用しています。奥のおもちゃのシステムキッチンは、パパのお手製です。



お客様のお宅訪問
新築 おうち自慢!



『K様のお宅に うかがいました』

築150年の実家を平屋に建て替え。 みんなに優しいバリアフリーの家。



▲お母様と一緒に記念撮影。「母にも兄にも暮らしやすい家ができました」とK様。

築150年の古家に、お母様とお兄様の3人で暮らしていたというK様。「母と車椅子で生活している兄のからだのことも考えて、バリアフリーの平屋に建て替えたいと考えていました。まず大手の住宅展示場に足を運んだのですが、どこも子育て世代向けの家といった感じでピンとこなくて。ちょうどその頃、弟の知り合いがエルハウスさんで家を建てていたので、弟を通じて相談したところ『しっかり話を聞いてくれるはずだよ』と教えてくれたらしく、その言葉を頼りに事務所へ行きました。今の家で困っていることや、私たち家族の希望を親身になって丁寧に聞いてくれました。その時感じた安心感が決め手になって、エルハウスさんをお願いすることにしました」。



▲玄関近くには、車椅子の昇降機を設置。屋根付きで雨の日のお出掛けもストレスを感じません。

「エルハウスからの提案で、お風呂・洗面台・トイレ・洗濯の水回りは1カ所にまとめることにしました。実際に暮らしてみると、動線が短くて移動がラク。母も移動しやすいと喜んでます。家具が多いと足元が心配になるので、思い切ってリビングからはテーブルとテレビ台をなくしました。普段の食事は造り付けのカウンターで済ませています。テレビは壁掛けタイプに変えたら、部屋が広く感じられるようになりました。家に来た人は、よく『このおうちは広いねえ』と言ってくれるのでうれしくなります」



▲テレビは壁掛けタイプを選択。テレビ台をなくしたことでお部屋が広く使えます。



▲キッチンの向かいには造り付けのカウンターを設置。普段の食事やちょっとした作業などは、すべてここで済ませているそうです。



▲サンタリー空間を広く取った間取り。洗面台とトイレが近く、移動の負担を軽減できます。



お客様のお宅訪問
新築 おうち自慢!



『M様のお宅に うかがいました』



▲3人のお子様がいるM様ご一家。お休みの日はリビングにあるソファでくつろぎながらテレビを見たり、愛犬のクックと遊んでいるそうです。



▲外壁はベージュ、玄関ドアはブラウンを選択。M様の人柄と同じく、優しい雰囲気を感じられます。



▲オープンキッチンから見たリビング。「調理中でも、子どもがちゃんと宿題しているのが分かりますよ(笑)」と奥様。

3人のお子様も愛犬ものびのび。 みんなが快適に過ごせるおうち。

「うちは子どもが3人。さすがにアパートでは狭くて、一戸建てを検討するようになりました」というM様。家づくりでは最初から、お金で無理をしないことを決めていたと言います。「家は一生ものですが、完成した後も生活は続いていきます。子どもの将来や、その後の夫婦での暮らしも考えて、妻と決めた予算内で建てられる住宅会社さんを探していました。『安くいい家』を掲げているエルハウスさんは、僕たちの考えにぴったりの会社さん。初めて事務所におうかがいした時、スタッフさんが家以外の話も真剣に聞いてくださって、お客さんを大切にされていることも実感できました。家自体の提案も良くて、すべてに納得した状態で『お願いします』とお伝えしました」

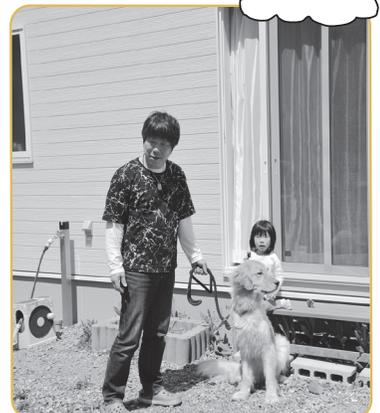
M様が建てたのはコンパクトハウス。「名前に“コンパクト”と入っていますが、リビングは20畳ほどあって、家族5人が集まっても広々過ごせます。今、1歳のゴールデンレトリバーを室内飼っているのですが、それでも狭さを感じないですね。2階には部屋が3つとウォークインクローゼットも入っていて、生活に必要な物をしっかり取り入れることができました」

コンパクトハウスには奥様も満足されています。「アパートの頃と比べて部屋が広いですが、水回りはぎゅっと近くに集中させたので、リビングからキッチン・お風呂・トイレへの移動がラク。オープンキッチンでリビングが見渡せるから、料理中も子どもの様子が分かって安心です。あと、この家はリビングを通らないと2階に上がれないようになっています。ちゃんと顔を合わせる機会ができるから、子どもたちが反抗期を迎えても安心です(笑)」

「家が完成した後、土橋さんが『おしゃれなおうちですね』と言ってくださったのを思い出すと、今でもうれしくなります」と奥様。「これからは家の周りも手を加えていきたいですね。まだまだ楽しみがいっぱいで、毎日わくわくしながら過ごしています」



▲玄関には、エルハウスでおうちを建てたお客さまにお贈りしているエルネコ貯金箱が飾られていました。



▲毎日すくすくと成長しているクック。「もう少し大きくなったら、ケージから出してのびのびしてもらおうと思っています」とご主人。



お客様のお宅訪問
新築 おうち自慢!



『A様のお宅に うかがいました』



▲3歳と1歳のお子様がいるAさまご一家。
「子どもが小さいうちに家を建てるのが
できて良かったです」

必要なものは自分たちでDIY。

美容室の開業を目指すご夫婦が暮らす家。

お2人とも美容師のお仕事をされているA様ご夫婦。ここ奥様の地元で「自分たちのお店と家を持つ」という夢を叶えるため、土地探しをスタートされました。「アクセスが良く、子育てするにもぴったりの場所が見つかりました。ただ、予定していたよりも広くて土地代がかかってしまいました。お店と家、どちらも諦めないでなんとか実現できないか、そんなとき目に飛び込んできたのが『ローコスト住宅』でした。ネットで住宅会社さんを探しているうちに、エルハウスさんにたどり着いたのです。資料請求をしたら、家のつくり方が分かる本やマンガが送られてきました。他の会社さんからもらった資料よりも面白くて、実際に見に行くことにしたのです」



▲120坪の広々とした土地に建つA様のおうち。近い将来、この敷地にご夫婦が経営する美容室ができる予定です。

「この時に私たちを担当してくれた池原さんと出会いました。それまでの住宅会社さんは、美容室の計画を話すと反応が薄くなってしまいうので、その度に歯がゆい思いをしてきました。でも池原さんは、私たちの話をしっかりと聞いてくれて、堅実な資金計画を提案してくれました。ここまで考えてくださったのはエルハウスさんだけです。池原さんの対応に感激して契約を決めました」

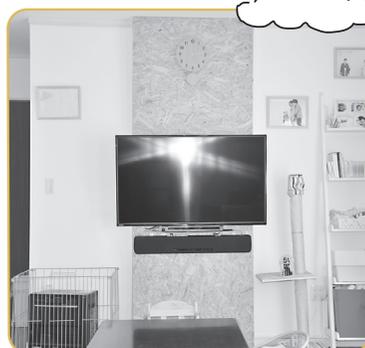
「私も主人もDIYが好きなので、予算のことも考えて、できることは自分たちでやっつけていこうと決めていました。キッチンのカップボードやお風呂場の鏡、ライトなどは自分たちで持ち込んだ物。高さの設定や調節、コードの仕上げなどは、職人さんの力をお借りして作業しました。池原さんと現場監督の滝沢さんにも協力してもらって、最後にみんなでリビングの壁に、有孔ボードを取り付けたのも思い出深いです。家づくりの仕上げに参加できたことが、すごくうれしかった。ここにはフックを取り付けて、私のかばんや子どもの帽子、お掃除ローラーなどを下げています。棚よりも使い勝手が良いですよ」それ以降、DIY魂に火がついたというご主人。おうちの完成後は、ウッドデッキや物置づくりに取り組まれたそうです。「夢である美容室の開業に向けて頑張っている仕事をしながら、家では趣味のものづくりやBBQを思い切り楽しんでいます。毎日充実していて幸せです」



▲池原、滝沢と一緒に取り付けたリビングの有孔ボード。フックは好きな位置に取り付けが可能。かばんや掃除用品などを掛けるのに活用されていました。



▲自作のウッドデッキに腰掛けていただきました。天気の良い日は、ここでBBQを楽しまれるそうです。



▲小さなお子様のことを考えてテレビは壁掛けに。「子どもの背よりも高い位置にあるので、ぶつかったり、画面をベタベタ触られる心配がなくなりました」と奥様。



お客様のお宅訪問
新築 おうち自慢!



『N様のお宅に うかがいました』



▲N様ご夫婦。今は産まれたばかりの赤ちゃんと3人で、幸せな時間を過ごされていることでしょう。



▲ご主人の希望が取り入れられた外観。ブラックの木目調サイディングを使って、モダンだけれど素材感を感じる仕上がりになりました。



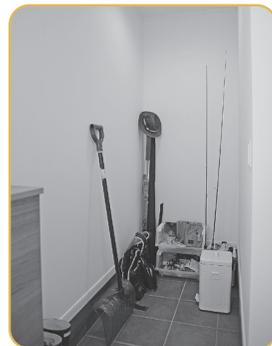
▲リビングが広く見渡せるよう、対面キッチンを選ばれた奥様。コンロ部分はお掃除のしやすさを考えてIHを採用しています。

シンプルかつ実用的。 楽しく子育てができる家。

30歳になってから、一戸建てへの憧れが強くなったというご主人。「妻とは日頃から、このまま賃貸暮らしでいいのかな? と話し合っていました。ただ、その間も土地やお金のことを考えると自分たちでも家が持てるのか、ずっと不安でした」そんな時、新聞に入っていたエルハウスの折込チラシをご覧になったそうです。「そこには『大手ハウスメーカーと同等の素材で、高品質な住宅が安く建てられます』と書いてあり、自分たちの悩みがスッと解決されたような気になりました。見学会で見た『エコ住宅』は、おしゃれで実用的で、家自体の性能が高く、こんな家がつくれるんだとワクワクしたことをよく覚えています。この時の見学会で出会ったのがうちを担当してくださった土橋さんです。土橋さんは自分たちの希望を上手に聞き出しながら、いろいろな提案をしてくれる引き出しの多い方。土橋さんと出会えたことで、エルハウスさんをお願いしようと気持ちが固まりました」

「『エコ住宅』の見学会で見た内装を参考にしながら、できるだけシンプルなデザインを希望しました。ただ、味気がなくなってしまうのは面白くない。すると土橋さんから『玄関にニッチをつくりませんか?』と提案をいただきました。ここは今、夫婦そろって一番のお気に入りポイント。シンプルですが、飾るものによって玄関全体の雰囲気が変わります。次は何を置こうかなと考えるのも楽しいです。あと、僕は釣りが趣味なので、玄関に長靴と釣り用具が置ける収納スペースをつくってもらいました。大きくてかさばる物なので、帰ってきたらすぐに置いて便利です。部屋のスペースを圧迫しないのもいいですね」

家づくりの最中に妊娠されていることが分かったそうです。「子どものいる暮らしを具体的にイメージしながら家づくりを考えました。小さな子どもがいると家事がラクにできるのはなによりありがたいですね。家事の時短を考えて食洗機や、お掃除が簡単なIHを選択。キッチン子どものいるリビングが見渡せる対面式にしました。この家は保育園や小学校が近くにあるので、子育てするにはとても良い場所です。この家で子どもがすくすくと育ってくれることを考えると、やっぱり幸せな気持ちになります」



▲釣り用具が置かれている土間収納。冬の間を使う雪かきなども一緒にしまっています。



▲弊社の土橋が提案した玄関のニッチ。取材した日はつぼみの桜が飾られていました。



お客様のお宅訪問
新築 おうち自慢!



『O様のお宅に うかがいました』

深呼吸が気持ち良い。空気のきれいな自然素材の家。

当初は中古住宅を検討されていたとおっしゃるO様ご夫妻。新築へと考えが変わったのは、調湿と脱臭に優れている自然素材の「シラス壁材」と出会ったから。「子どものアレルギー体質のことですごく悩んでいました。家の中をきれいな空気で満たしてあげたいと考えていたところ、エルハウスの池原さんがシラス壁を紹介してくれたんです。わざわざ私たちのために本を読んで勉強してくださったようで、ありがたく思いました。中古をやめて新築にすることにしたのは、池原さんの人柄も大きいですね」とご主人。

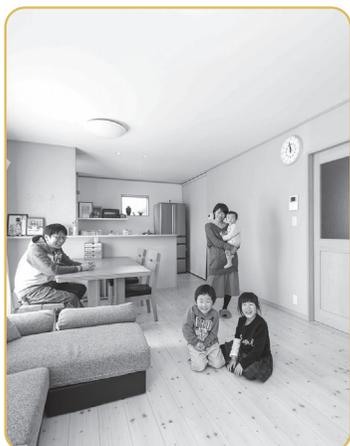


▲オレンジとクリーム色の外壁でかわいらしくまとめた外観。土地を決める際には実際に通学路をお子様と一緒に歩いて確認されたそうです。



▲営業の池原と。「エルハウスさんに決めたのはコストパフォーマンスの良さもありますが、なによりも池原さんが絶対に信用できたからです」とうれしいお言葉をいただきました。

ただシラス壁は高価なため、当初のご予算を超えてしまいました。そこで資金計画も含めて、いろいろと勉強されたそうです。例えば、難しい不動産登記をご自身で行うなどしてできるだけ費用をカット。玄関のエコカラットもご主人が自ら貼られました。また、家を建てた記念にと、建築途中に家族全員で立ち寄って、塗りたてのシラス壁に手形をつけました。「普通はこんな場所は選ばないでしょうけど、思い切ってダイニングにしました。普段からふとした折に目がいけますね。子どももときどき手を合わせて遊んでいます」と奥様。そんな努力の甲斐あってマイホームが完成。「住み心地は抜群です。この家に移った途端、子どもたちが咳をしなくなりました」とご主人がうれしそうに語られると、奥様も「脱臭効果もすごいですね。焼肉をした時も翌日になればほとんどニオイは消えていました」と喜んでいらっしゃいます。



▲家族の健康のため、壁に100%自然素材のシラス塗り壁材を使ったLDK。左官屋さんの手仕事で、刷毛を使った仕上げに味わいがあります。



▲家を建てた記念にみんなで付けた手形。お子様たちが大人になって巣立つ日が来ても、いつまでもご家族の良い思い出になることでしょう。



▲「背が低いので吊り戸棚は使わない。その代わりに背面に棚を作りました」と奥様。ロールスクリーンの奥のフリースペースは、半分をパントリーに、半分をピアノの練習場所にしました。



お客様のお宅訪問
新築 おうち自慢!



『U様のお宅に うかがいました』



▲U様ご一家。「エルハウスさんにはライフプランについても大変お世話になりました。おかげで完成後も無理のない生活が送れています」とご主人。

使い勝手の良い家と、暮らしが楽しい広い庭。
三角形の土地でどちらも実現できました。

以前は市営住宅に住んでいらっしゃったU様。「市営住宅といっても3DKと広い上に家賃も安くて、本気で一生住もうと考えていました。でも年々、家賃が上がって。次の更新で、最初に住んだ年の3倍も高くなるのが分かりました。今と同じくらいの額でローン返済ができるなら一戸建てを買ったほうが良いかなと思うようになりました。幸い、土地は妻の実家から譲り受けたものがありまして。三角形の土地なのですが、自然豊かで、おもしろい家づくりができるのではと感じていました」そんな時、近所で開催されていたエルハウスの見学会に参加。「土地のことを話したら『近くですから』と言ってそのまま見に来ていただきました。一目見て『良いですね。ここに建てましょう』と言ってくださって。その言葉に背中を押されました。あの見学会から家の完成まで、本当にトントン拍子でしたね」



▲白い外壁でシンプルにまとめたU様のお家。家の周りには、目隠しを兼ねてモミジが植えられています。

「土地は三角形ですが、家は四角いものが良いと思っていました」という奥様。「最初に提案していただいた図面がもう理想通りで。四角い家に使い勝手の良い間取り、車3台分の駐車スペース、広めの庭と、ほしいものが全て詰め込まれていました。エルハウスさんはよく『家は動線が一番大切』とおっしゃっていましたが、本当にその通り。特に気に入っているのがキッチンとサニタリーの近さ。それも直結しているのではなく、ワンクッションとしてホールが間に入っているのが良いんです。朝は脱衣所とトイレが絶対にバタバタするので、直につながっていないほうが、みんなの動きもスムーズ。扉を開けておけば、子どもの気配が分かるのも良いですね。毎朝、ちゃんと支度できているかハラハラしなくなりました」



▲日当たりの良さを生かして、納戸からサンルームに変更したという2階のホール。「洗濯干しは夜のうちに済ませて、朝の時間を節約しています」と奥様。



▲広い玄関にはシューズクロークも完備。ここには外套や長靴などの他、ご主人が育てた野菜も置かれるそうです。



▲三角土地の角を生かした広い庭は、ご主人お気に入りの場所。これからの季節は、ここでバーベキューを楽しまれるそうです。



お客様のお宅訪問 新築 おうち自慢!



『【様のお宅にうかがいました】』



趣味と機能性を両立させた アメリカンテイストのお家。

「結婚して子どもができてから、自然とマイホームが欲しいと思うようになりましたが、どんな家が欲しいのかまではイメージがありませんでした。ところが「くらすの家」を見た時にすぐに『あ、これ良いな!』と感じたんです。機能面にもデザイン面にもたくさんの工夫が注ぎ込まれていて『この家を参考にすれば、良い家ができる』と確信しました。あの時に初めて自分たちの理想の暮らし方が見えたんです」

「デザインについては妻が『パパの納得がいくようにすればいいよ』と言ってくれたので、自分の好きなアメリカンテイストを反映させることにしました。家は一番長くいる場所。ゆったり、ゆったりできるようにヴィンテージ感のある落ち着いた雰囲気になっています。特に気に入っているのが、レンガと古材を利用したバーカウンター。1日の終わりに、ここでお酒を飲む時間は最高です。自分が叶えたいことと予算のバランスを考えて、いろいろとアイデアを出して形にしてくださいました。家づくりの最中、古材板を直接トラックで調達して、自らやすり掛けしてくれた姿も忘れられません」

「うちは共働きで、家事になかなか時間をかけられないから、物が散らかりやすいのが悩みでした」という奥様。「せっかくデザインにこだわったのだから、きれいな状態がずっと続くように、作り付けの棚やパントリーを取り入れて、収納力を高くなりました。それから、キッチン・脱衣所・トイレの水回りは動線を一直線に、2階のホールにはシーリングファンを付けて室内干しができるように。おかげで家事の時間が短くなってストレスなく過ごせるから、夫婦喧嘩もなくなりました(笑)。この家で家族みんなが幸せでいれることが一番うれしいですね」



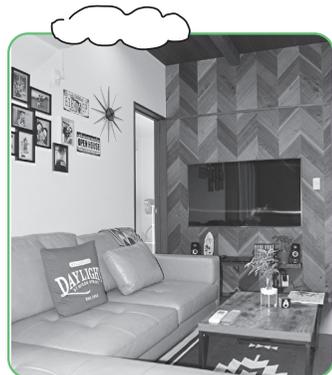
▲黒の外壁でクールに仕上げた様のお家。ウッドデッキはご主人の自作です。



▲ブルーの壁紙が基調のインパクトある2階ホール。「シーリングファンのおかげで空気が循環して、室内干しでも洗濯物がしっかり乾きます」と奥様。



▲ご主人自慢のバーカウンター。作り付けの棚には、お気に入りのお酒がずらりと並んでいます。



▲「リビングは西海岸風にしたくて、壁をヘリンボーン柄にしました。」とご主人。



お客様のお宅訪問 新築 おうち自慢!



『K様のお宅にうかがいました』

家族で過ごす時間が明るくなる、
大きな窓のリビングが自慢のお家。



▲お家の前で記念撮影。取材中、すやすやと眠っていた次男君、とてもかわいらしかったです。

エルハウスとの出会いはお父様からのご紹介でした。「今、両親と兄夫婦が暮らす2世帯住宅を建ててくれたのがエルハウスさんです。僕たち夫婦は、長男が生まれてからしばらく、一人暮らし向けの1LDKに3人で住んでいました。さすがに狭くて、もうちょっと広いアパートに引っ越すか、それとも一戸建てを買うか迷って父に相談したんです。そしたら、せっかく子どもが生まれたのだから一戸建てが良いと勧めてくれて、すぐにエルハウスさんを紹介してもらいました。父は『思いやりのある人が集まっている会社さんだ』と言っていたので、最初から安心感がありました」

「父親の言葉の意味は、事務所にお伺いしてすぐに分かりました。家からの距離のことを気遣ってくれたり、今後の参考にと家づくりの雑誌をプレゼントしていただいたり、一つ一つの対応に心遣いを感じました。間取りの話になったとき、あれもこれもと、どんどん追加してしまう僕たちに『本当に必要なものがなか、一緒に考えてみませんか』と提案してくださったのが忘れられません。完成してからの生活や子どもの将来など、自分のことのように一緒に考えてくれる姿勢に『家づくりを頼めるのはエルハウスさんしかない』と確信しました」

「打ち合わせの結果、家族の団らんを大切にする家づくりにしました。リビングは17畳と他の部屋よりも広めにしました。すぐ隣には子どもたちの遊び場になる和室をつくりました。普段は開けっ放しにしてリビングと一体化して使っています。家族が過ごすリビングは、大きな窓を付けて日当たりを良くしました。もう一つ気に入っているのが2階の寝室。天気の良いと諏訪湖がきれいに望めるんです。家の中から諏訪湖の花火大会が見られるように、窓の位置を細かく設計してもらいました。去年の夏、この部屋に家族4人で集まって花火を見たのは最高の思い出です。これからも、この家でいろんな思い出をつくっていききたいですね」



▲ベージュの外壁を使ってやさしい雰囲気仕上がりしました。



▲大きな窓が2つ付けられているリビング。17畳あるので、長男君も思いっきり走り回れます。



▲リビングの隣につくられた和室。「今は子どもの遊び部屋にしていますが、将来は来客用の寝室にする予定です」とご主人。



▲奥様自慢のキッチン。すぐ後ろには備え付けの食器棚と階段下スペースを活用したパントリーがあります。



お客様のお宅訪問 新築 おうち自慢!



『H様のお宅にうかがいました』

リビングの四角い窓で切り取った信州の山々。
まるで絵画のような風景が我が家の自慢です。



▲H様ご一家。ご家族の後ろにある窓からは、移り変わる山の景色が楽しめます。

自然の多い土地で育ったというH様ご夫婦。「僕も妻も、森のような場所で四季を感じる暮らしがしたいと考えていました。ちょうどそのころ、友人から教えてもらった平社長の本『安くていい家』を読んでいて、どんな家を手がけているのかが知りたくって見学会に参加しました。そこに載っていた、たくさんの幸せそうな家族の姿を見て、『自分たちにも家を建てられる』と前向きな気持ちになったのを覚えています。見学会では、大工さんの丁寧な仕事ぶりにも感動しました。クロスの貼り方一つとっても、エルハウスさんの家は仕上がりがすごくきれい。どの家に行っても同じクオリティなのを見て、妻と『うちもエルハウスさんをお願いしたいね』となりました」

「今の家があるのは、エルハウスさんのおかげです」と話すご主人。「あとは着工を待つだけ、という段階で、自分たちで探してきた土地が取得できないと分かったんです。それから1年近く、なにも手に付かないくらい、家づくりに対してやる気を失ってしまいました。僕は契約がなくなっても仕方ない、と思っていましたがエルハウスさんは違いました。久しぶりに何うと『もう一度、土地探しから始めませんか?』とおっしゃってくださったんです。あの言葉のおかげで、家づくりに対する気持ちを立て直すことができました。今の土地は、山がすぐ近くにあって自然あふれる場所にもかかわらず、役場やインターチェンジが近いので生活するにはとても便利な場所。見つけたときは、諦めなくて良かったと思いました。僕はDIYが好きなので、工事期間中は現場によく通っていました。家が建っていくそばで薪割りをしたり、大工さんたちの休憩時には一緒にお茶を飲んだり、完成までの期間も良い思い出いっぱいです」



▲山林の中にあるH様のお家。お庭も広く、3人のお子さまたちがのびのびと遊んでいます。



▲後ろにあるのは薪ストーブは、「これ1台で家中暖かくなります。外が氷点下でも、半袖半ズボンで過ごせますよ」とご主人。



▲お庭にすぐ出れるよう設計された土間。お子さまたちが外で泥だらけになっても、ここで汚れを落とすことができます。



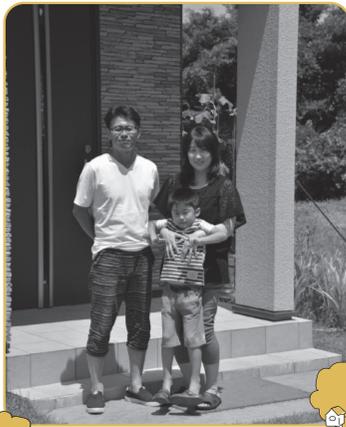
▲H様のお家から見える美しい景色をおすそ分け。「雨の日の眺めも落ち着きがあって良いですよ」と奥様。



お客様のお宅訪問 新築 おうち自慢!



『N様のお宅に うかがいました』



自分で引いた設計図で建てたマイホーム。
好きなように手を加えて楽しんでいます。

「家を建てようと思ったのは35歳のときです。まだ子どもはいませんでした。いつまでも賃貸暮らしというのは心もとないなと思って決断しました。」というN様。「実は昔からマイホームに憧れがあって、土地はすでに購入していました。だから、あとは住宅会社さんを探すだけだったのです。僕は建築関係の仕事をしていて、建築士の資格を持っています。そのためマイホームは自分で設計した図面を元に、大工をしている兄にも参加してもらって建てたいと考えていました。いろいろと探した結果、この条件を受け入れてくださったのがエルハウスさんでした。」

「生活スタイルに合わせて間取りを変えられるよう、LDKにはあえて間仕切りを作りませんでした。その代わりに、壁やラックを後から追加できるような仕様にしました。ですが、まだ壁はつくっていないんです。実は、家ができたばかりの頃、友達夫婦の子どもがここでうれしそうに走り回っていて。うちも子どもができれば、この部屋で思いっきり遊ばせようと思ったんです。実際、毎日走り回っています。壁やラックを足すのは、子どもがもう少し大きくなってからにしようと思います。」

「住み始めてからの11年で一番変化したのは庭ですね。自分で手を加えて、いろいろと楽しんでいます。西部劇に出てくるような広いウッドデッキと子どもが乗れるブランコが欲しかったのでDIYしました。天気の良い日は子どもと2人で遊んでいます。年々愛着が湧く家ができたのは、周りの人達の協力があったからこそ。難しい条件だったにもかかわらずOKしてくださったエルハウスさんには、本当に感謝しています。」



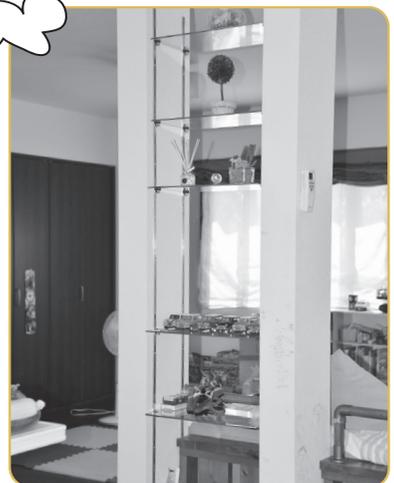
▲ご主人が自分で作られたウッドデッキ。柵の向こうには、長野県の美しい自然が広がっています。



▲自然豊かで静かな土地に建つN様のお家。お庭も広く、のびのびと過ごせます。



▲一部が吹き抜けになったリビングダイニング。上に見える窓を通じて、奥さまとお子さまが会話することもあるそうです。



▲ご主人のこだわりで設置したガラス棚。自慢のミニカーや奥さまお気に入りのアロマディフューザーが飾られています。

Fun next month's plan!!



Fast and delicious meal!!



Saving, saving

Fun on a rainy day!!



ワクワク系

株式会社 エルハウス

住所 : 〒391-0013 長野県茅野市宮川 1387-9 A-I ビル 2F
TEL : フリーダイヤル 0120-71-2415
Email : team@lhouse.co.jp

ホームページはコチラから!
<https://www.lhouse.co.jp/>

エルハウス

検索

